

大麻の害から心と体を守りましょう

1. 大麻とは

大麻とはクワ科の一年草で中央アジア原産の植物です。古代から繊維用として栽培されてきました。この植物の葉などをあぶってその煙を吸うと酩酊感、陶酔感、幻覚作用などがもたらされます。現在では世界の多くの国々で、乱用される危険のある薬物として規制されています。日本でも大麻取締法という法律があり、所持しているだけで罪になります。罰則としては、違反の内容により7年以下の懲役や200万円以下の罰金が規定されています。大麻には「ハッピー、マリファナ、チョコ」など多くの呼び名や形状がありますが、どんなものであっても心身に有害です。

2. 大麻の影響

大麻を乱用すると身体的、精神的に深刻な影響が現われてきます。ひどい場合は「大麻精神病」と呼ばれる独特の妄想や異常行動、思考力低下などにより普通の社会生活を送れなくなる場合もあります。

○身体的影響

- ・心拍数が50%も増加し、これが原因となって脳細胞の細胞膜を傷つける。そのため、さまざまな脳障害、意識障害、幻覚、妄想、記憶力の低下がもたらされる。
- ・大麻の煙により、気管支、のど、肺などの呼吸器官に障害がもたらされる。

○精神的影響

- ・やる気がなくなる、物事がどうでもよくなる、などの投げやりな気分になる。
- ・情緒不安や集中力、忍耐力の低下、自発性のなさなどの症状が現れる。
- ・常に朦朧とした意識状態に陥ったり、うつや偏執病的症状が現れたりする。
- ・何の理由もなく、突然恐怖にかられたり、錯乱を引き起こしたりする。
- *行動面でも、交友関係が変化する、身なりに無関心となる等、人が変わったようになります。
- *こうした変化は数ヶ月から一年位の間に徐々に顕れ、やがて大麻乱用者の人格として固定してしまいます。軽い気持ちで始めたつもりが一生の問題となってしまうのです。
- *大麻の摂取をやめても、数年もの間、症状がなくなる場合もあります。

3. 薬物の依存性

乱用薬物のもっとも恐ろしい特徴は、何度もくりかえして使いたくなる「依存性」という性質をもっていることです。1回だけと思って始めた人も、薬物なしではいられなくなるのです。やがて、使用する量や回数がどんどん増えていき、自分の意志ではやめることができなくなり、どうしようもない悪循環がうまれます。

※大麻にも精神的依存性があるといわれています。

4. 心と体を守るために

- ・薬物の危険性について正しい知識を持ちましょう。
- ・軽い気持ちで使用したり、誘惑にのったりしない、強い気持ちを持っておきましょう。
- ・薬物乱用が行われている疑いがある場所には近づかないようにしましょう。
- ・薬物乱用についての相談や悩みがあれば、必ず家族や先生に相談しましょう。

薬物乱用の兆候（チェックリスト）

薬物を乱用すると、さまざまな兆候や危険なサインが現れます。日常の中で、子どもたちの様子に関心をもつことが薬物乱用を未然に防ぐことにつながります。

《身体面》

- 食欲が不自然になくなったり、やせてくる。
- 体重が減少する。
- 目が充血している。
- 目がつり上がる。目つきが厳しくなる。目がうつろになる。
- 顔色が悪い。
- さかんにつばを吐く。水を飲みたがる。唇をなめる。
- 手足が震える。手足の動きがスムーズでなくなる。
- ろれつが回らない。
- 眠らない。また、一度眠ると起こしても起きず、何時間も眠る。

《生活面》

- 帰宅時間が遅くなったり、夜遅くに出かける。
- 金遣いが荒くなる。必要以上にお金を要求する。
- 平気で嘘をつく。
- 保護者の知らないお金や物を所持している。
- たばこを常用したり、酒を飲んだりする。
- 無気力でだらしなくなる。
- 態度や表情が明るくなったり、暗くなったりする。
- 自己中心的で落ち着きがなくなる。
- 感情を抑えることができず、いらいらして暴力的になる。
- 妄想を抱く。つじつまの合わないことを言う。
- 家庭でのコミュニケーションを図ろうとしない。
- 保護者の知らない人から連絡がよくある。
- 保護者や教師などへの過度の反抗や無断欠席などが現れる。
- 咳止め薬、鎮痛剤、風邪薬、睡眠薬、粉末の薬や有機溶剤、ガスなどを不必要なものに持っている。
- 友達が頻繁に訪れ、部屋で何かをしている。家族を部屋に入れさせない。
- 部屋のゴミ箱に、異臭のするティッシュ、ビニールが捨ててある。
- 非行行動（不良交友、暴走族とのつながり、薬物代欲しさの恐喝、盗み、売春等の犯罪に手を出す）等を伴う。

《参考資料》

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/seisaku/2009/10/03.html>
- 日本学校保健会 <http://www.hokenkai.or.jp/3/3-1/3-1.html>
- 麻薬・覚醒剤乱用防止センター <http://www.dapc.or.jp/info/index.htm>
- 神奈川県教育庁保健体育課「学校における薬物乱用緊急対応マニュアル」